



〈会員の窓 5〉

淀川の思い出

副会長 今堀 淨



昭和 37 年学制改革として、中堅技術者の育成を目的とした高校短大一貫教育を行う、5 年制の工業高等専門学校がスタートしました。私は大阪工業高等専門学校の第一期生として入学いたしました。現在の摂南大学の学舎、周辺環境は当時と比べ、とても想像がつかないほど大きく変貌しています。当時の校舎はすでに取り壊された旧 1 号館、学生寮のみで、周辺は日本ペイント資材置き場にドラム缶の山、三井建設の資材倉庫、乳牛の飼育牧場、池田・太間地区集落の外はすべて田んぼで、淀川や国道 1 号(現京守線)が一望できる状況でした。通学も当初は寝屋川市駅へのバスは無く、バスは国道 1 号を走る枚方、京阪三条浜大津行き、大阪方面は天満橋、和歌の浦行きで、寝屋川市、香里園へは歩くしかありませんし、菅原神社前には信号機もなく、大型トラックの合間を見て渡っていました。

校舎の西を流れる淀川は、昭和 28 年 9 月 25 日の台風 13 号の被害を受けたため、その堤防の修繕、再嵩あげ、斜面アスファルト防水舗装などの 10 年にわたる工事が行われていました。大阪工業高等専門学校ではその淀川を体育、測量実習、河川工学の演習場として大いに活用しました。

昭和 40 年 9 月 25 日台風 24 号が近畿地方に襲来し、最大流量 $7,000\text{m}^3/\text{s}$ を記録し、当時の計画高水流量 $6,950\text{m}^3/\text{s}$ を上回り、水位は観測史上第 3 位となり、伊勢湾台風並みの危機となりました。上田伸三先生の高専 4 年生河川工学の授業では、講義を現地演習に切り替えて淀川を見に行きました。堤防上は多くの人が見物に出ており、午後には淀川の水位はピークを迎えて堤防天端より 1m 近くまで濁流が迫っていました。本流は波立ち、流れは速く、流木が目立つ一方、堤防近くは泡が溜まりほとんど流れのない状況でした。このような大量の洪水はどこからやってくるのだろうか、これからまだ水位が上昇するのだろうか、どのように収束するのだろうか、みんな自然のなす大きな現象に唖然としていました。

平成元年、大阪に“平成 9 年なみはや国体”がやってくることが決まり、私の勤務する枚方市はカヌー競技とバレーボール少年男子を開催することになりましたが…淀川でカヌー？なぜだ…大阪府下には他に可能性のある河川は無いのだろうか？選考委員から、「枚方大橋上から見た淀川はライン川の美しさに似て美しい。枚方でやってほしい」と要請されました。

やがて市長より私に道路工務課長と国体推進本部の兼任指令が出、上田先生、澤井先生にご指導を仰ぎ遡んだ淀川の本川で日本選手権大会(リハーサル国体)、国体本大会に取り組みました。流れの弱い川でのカヌーの競技は前例がほとんどありませんが、福岡県では海でやったとの情報も…澤井先生にお願いして人工水流での可能性を追求しました。ゲート通過流速 2.5m/s を確認できましたが全体経費が膨張し、人工水流は断念せざるをえなくなりました。残念ではありましたが、澤井先生と学生たち、暑い中で淀川と格闘し、チャレンジした足跡は残せたと思います。国体カヌー競技は秋篠宮ご夫妻を迎えて盛大に成功終結しました。

国体開催の平成 9 年、澤井先生より淀川愛好会の結成のお誘いがあり、以来、淀川愛好会会員として郷土の淀川を愛しています。

イベント案内 (詳細は 3・4 ページ)

摂大祭

エコシビル部が模擬店や展示、田舟クルーズをします。その他にも様々な催しがありますので、ぜひご来場ください。

淀川愛好会 秋のイベント

大和川源流探訪第3回 (石川をめぐるバスツアー)への参加

弘川寺歴史と文化の森など、自然と歴史ゆたかな石川源流を探訪し、間伐や竹林伐採、学校林活動などに取り組む住民団体などと交流します。

イベント報告

淀川愛好会 夏のイベント2012

「近畿水環境交流会in武庫川・宝塚」

7月28日(土)・29日(日)に、現地の方々の協力を得て、開催しました。

1日目の午前は、歴史の町“小浜”の町並み見学を、「小浜の町並みを愛する会」のご説明を聴きながら行いました。小浜制札場や毫攝寺など歴史的なポイントを見ることができ、小浜についてよく知れる見学会となりました。

午後からのシンポジウムでは、宝塚市文化財団理事長 田辺真人氏に「武庫川の流れと生活史」を講演していただきました。そして、各団体(ウォーターステーション琵琶の会、桂川流域ネットワーク、やましり山山の会、武庫川づくりと流域連携を進める会、武庫川流域圏ネットワーク、大和川市民ネットワーク、近畿子どもの水辺ネットワーク、淀川愛好会、摂南大学石田ゼミ、エコシビル部)の活動紹介をしていただきました。

2日目の午前には、宝塚大劇場前の武庫川河川敷で河岸清掃、水辺の利用の実践(水質調査、生物観察、距離測定)を行いました。

午後からのEボートレースでは、14チームで優勝をめぐる熱いレースが開かれました。結果は、1位 摂南大学熊谷ゼミ、2位 チーム土方(石田ゼミ0B)、3位 摂南大学澤井ゼミ、4位 エコシビル部でした。

今年は全体で約200名の方が参加したイベントになりました。



田辺真人氏の講演



Eボートレース(澤井ゼミ)

天若湖アートプロジェクト

8月4日(土)・5日(日)に京都府南丹市の日吉ダムで開催しました。京都造形大学と協力して準備を行い、ダムの湖面にあかりを浮かべることで、水没した集落を再現しました。今年は満月で例年に比べて明るい夜となり、陰影が強調されあかりの映える美しい風景がつくられました。

2日目はエコシビル部によってダム下流の桂川でEボート体験とストーンペインティングが行われ、川で遊ぶ子ども達がとても楽しそうでした。



灯り設置の準備中

淀川まるごと体験会

8月19日(日)に淀川左岸河川敷の点野ワンドにて河川レンジャー主催で開催しました。

摂南大学では新しく購入したエコシビル部のEボートを加えた過去最高の4艇で運航しました。今年は8月13日の豪雨の直後で雨がが多く淀川の水も土砂でひどく濁っていましたが、流れは緩やかで快適にイベントを行うことができました。



笛づくりの様子

シニア自然大学校星組講座

摂南大学で8月25日(土)に行われました。約30名の参加があり、午前中は大学で講義をして、午後は大学のビオトープを見学した後、淀川で船着き場から点野ワンドまでEボートの乗船体験を行いました。

幸町公園水辺の集い

9月1日(土)に寝屋川市の幸町公園で開催しました。植生観察を行った後、生物調査、カヌー乗船体験、バーベキュー等、河川イベントを行うことで、寝屋川市民を中心とした参加者の皆さんと交流を深めることができました。水辺で遊ぶ子供達の姿は、とても楽しそうで印象深く残っています。



幸町公園での様子

日野川水辺フェスティバル

京都市伏見区の春日野園(保育園)で9月2日(日)に、日野川水辺の会による水辺フェスティバルが行われました。生き物調査やものづくりをして園児達と触れ合いました。そして、園児達によるマーチング演奏や春日野園職員によるエコ劇などのステージ演奏を鑑賞し、楽しい時間を過ごすことで元気をもらうことができました。最後は恒例のきれいな花火を見て楽しみました。



日野川で遊ぶ子ども達

大和さくらい万葉まつり

9月8日(土)、桜井市金屋公園で、大和さくらい万葉まつりが開かれました。摂南大学は今年もEボートを出しました。子ども達に大人気で、乗船終了時刻を過ぎてもお客さんが集まるほど大盛況でした。皆さん大いに楽しんでいる様子でした。



会場での試し乗り

つぎねふ修楽～木津川で遊ぼう～

9月16日(日)、京都府南山城村のやまなみホール・かわらまち一帯で開かれ、摂南大学はEボート乗船担当として参加しました。他にもカヌー体験や手作り筏コンテストも企画され、盛りだくさんのイベントでした。木津川は流れが少し速いので、いつもより大変でしたが、あまり体験できないことだったので楽しかったです。

9月29日(土)には笠置大橋から恭仁大橋まで午前と午後にそれぞれEボート3隻で川下りを行います。



木津川での乗船

今後のイベント詳細

摂大祭

日時：10月6日(土)・7日(日)・8日(月)

会場：摂南大学寝屋川キャンパス

エコシビル部の活動内容：模擬店(焼き鳥)・ポスター展示・しおり作り・田舟クルーズ

都市環境工学科はテクノ広場(1号館1階プレゼンテーションロビー)で、衛星写真の展示や水質検査をします。

理工学部・地域連携センター共催：産学公民地域連携フォーラム「防災に役立ちそうな、あんな工夫・こんな技術！」

日時：10月6日(土)14:00～17:00 会場：12号館3階1233教室 参加費：無料

淀川愛好会 秋のイベント

大和川源流探訪第3回(石川をめぐるバスツアー)への参加

主催：大和川市民ネットワーク

日時：11月24日(土) 10:00～16:00

集合：8:30 寝屋川市駅西側ロータリー または

10:00 石川河川公園事務所(近鉄南大阪線駒ヶ谷から徒歩5分)

見学コース：石川河川公園→弘川寺 弘川寺歴史と文化の森

→石川上流(滝畑ダム付近)→河内長野駅(移動はマイクロバス)

→(希望の方は)寝屋川市駅

持ち物：弁当、飲み物

参加費：500円(バス代一部負担) 寝屋川市駅から乗車の方は1000円

申込先：淀川愛好会事務局

参加申込〆切：11月15日(木)(ただし定員25人になり次第、締め切ります)



〈会員の窓 6〉

川との関わり

中根 広宣

今年の4月から私は澤井ゼミに配属され、淀川愛好会に深く関わり始めました。それまで私は、川と接することが少なかったため、川に対する思いはほとんどありませんでした。4月から様々なイベントの企画や準備をしながら、自分自身も川で遊ぶこともしてきて、だんだんと川の魅力を感じるようになりました。淀川愛好会で関わってきたものは川だけでなく、他団体の方とも関わってきて、人とのつながりも広げることができました。

今後もイベントを通して川の魅力をさらに感じ、人とのつながりを大切にしながら伝え、広める活動をしていきたいと思います。

(摂南大学工学部都市環境システム工学科4年次 水辺環境創出研究室)

会員募集・寄稿のお願い

淀川愛好会では、淀川に興味・関心のある方のご入会をお待ちしております。ご入会を希望される方は淀川愛好会事務局へ随時ご連絡ください。また、「会員の窓」への投稿やご意見も随時募集しています。

編集後記

涼しい、爽やかな秋風が、炎暑との闘いで消耗した生きる力を再チャージしてくれています。第59号をお届けします。

私が編集に関わるようになって本NEWSは3回目の発行を迎えました。NEWSの作成は本会の学生諸君に負うところが大きい。編集は、皆さまにご報告すべきことやお伝えしたいことが限られた紙面に盛り込まれ、そして練り上げられた彼らの原案を基に行われています。勉学および研究のための貴重な時間を割いて執筆および編集してくれている中根広宣君(工学部4年生:澤井研)をはじめ、小笠原裕介君(大学院博士前期課程2年生:澤井研)、赤星健太君(2012年卒:現・光工業株式会社)たちに感謝したい。彼らの筆さばきのさらなる成長ぶりを見たく、次号の編集が楽しみだ。

編集長 相本太刀夫(元摂南大学薬学部教授)

淀川愛好会事務局：〒572-8508 寝屋川市池田中町 17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 澤井教授室内

TEL/FAX：072-839-9124 携帯電話：090-2196-9594(澤井)

HP：<http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric>

E-mail：sawai@civ.setsunan.ac.jp(澤井) または 091048nh@edu.setsunan.ac.jp(中根)